

毎月2回10日・25日発行
発行所
秋田県北秋田郡
合川町役場
編集人
合川町広報係
(合川町教育委員会)
事務局内
TEL 李 38番
(発行部数 2,350)

中央青年學級

24日に第四回目を開く――

公民館の新しいころみ
として昨年から始められ
た「合川町中央青年学級」
は回を重ねるごとに活発な
学習ぶりで、町づくりの中
堅リーダーの養成を行って
いるが、第一回西地区、第
二回目東地区、第三回目が
北地区と終り、第三回目に
は町婦人会の幹部連をもま
る模様である。

各グループやサークルで
はこの課題に関心を持ち、
お互に研究しているが、こ
の集いには学級生以外でも
自由に参加してほしいと関
係者は望んでいる。

▼公民館福岡主事の話
「中央青年学級が回を重ね
るごとに盛況を呈して

来たことはとても心強いことだ。第四回の学級テーマは農村文化をとりあげたが農村文化といつても広義に解釈して農事研究会や青年会等の活動も含めたものが農村の文化活動の一切と考えている参加者に限定はないので誰でも自由に来聴してほしいと思う」

なお当日の司会は社会教育主事佐林幸吉氏、助言者としては畠山町長をはじめ高校職員が予定されており、盛会が期待される。

地區館、分館は廢止

新年度から機構を改革

公民館

第四回中央青年學級のテーマは「農村文化はどうあればよいか」について行われるが、町内の青年が各々田館長を中心に新機構案にその所属するグループやサークルなどの実態を発表するとともに、運営上の悩みや障害、要望等を卒直に出し合つて、どうすればうまく行くかとの研究が行われた。

町公民館では新年度から機構を改めることになり金田館長を中心に新機構案について協議していたが一応の成案に達したので近く運営審議委員会を開いて審議すること。現在の地区館と部落分館は廃止し、地区ごとに分館をおいて本館と直結させること等であるが、この

改革される主な点は、従来三十人の運営審議委員は半数の十五人とすることをはじめ、地区評議員、分館顧問等の制度を取り止めること。現在の地区館と部落分館は廃止し、地区ごとに分館をおいて本館と直結させること等であるが、この

新生活運動雜觀
(一)

合川町公民館主事 福岡武雄

新生活運動というと、生
活改善運動の新しい言い方
だと解している人が多いら
しい。とんでもない考え違
いというべきだ。

新生活運動は、人気とり
政策の一つとして鳩山内閣
がはじめたものだ、頭か
ら批判し反発しようとする
人もある。これなどはあま
りにも狭い量見というべき
ではあるまいか。

また「新生活運動などと
あらたまつて言わなくとも
自分はすでにこの運動を実
践している。いまさらそん
な運動の必要はない……」
と言っている人もある。

私はその人の生活態度を批
判するわけではないが、自
分だけで満足している態度
は新生活ではないと思う。

「自分ひとりの犠牲、忍従
でことが円満におさまるな
らば……」と諦らめている
人も案外多い。一時代前に
はこの種の態度は「美談佳
話」に価したものが、今い
運動なんて論ずるに足りな
い。要は、生きて行くこと
が先決問題だヨ」と主張す
る人もあつた。そしてこの
種の主張をする人の中には
相当の論客が多い。

しかし、こういう人は新
生活について考え違いをし
ていることには気が付かず
不平を述べるに急である。

「婦人会とか青年会などの
団体だけが、この運動を担
当すべきでその他は関係な
い」と、うそぶいている人

桜田さんが一位に

町の米多収穫競作会で

町経済課では昨秋第二回一時から西中学校で表彰式
合川町米多収競争会を行つた。
つたが、このほど最終審査 一位、桜田新悦さんの作
の結果を次のように発表す 付品種は「チヨウカイ」で
るとともに 去る九日午後坪当乾燥量は九百匁反、当

A black and white photograph of a classroom scene. A teacher stands at the front, facing a class of students. A large poster is on the wall behind the teacher.

なお、今回の参加点数は百四十二点で受賞者は五十一点であるが、入賞点数の品種別は農林四十二号二十点、チヨウカイ十六点、農林十七号七点、ハツニシ

新農村建設事業 今年度計画決る

画を決定、県当局に進達した。

家畜導入など

事業費総額二千四百万円

○農道
二、〇〇〇米（一、五〇〇）
○客土
二〇町歩（二、〇〇〇）
◆畜産振興事業
○家畜導入
馬二〇頭、役牛二〇頭、
乳牛三〇頭、豚一〇頭、
にわとり一、〇〇〇羽
（四、一〇〇）
○草資源開発整備
牧道一、二〇〇米、木さ
く二、〇〇〇米（一、五

たばこは

◇高いタバコをたたくさんすつて下さいとは申しませんが……。
(せめてタバコは町内の小売店から買うようにして下さい。町内で買えば代金の9%が、[タバコ消費税]となって苦しい町の財政を助けることになるのです。あなたのようなタバコにどうぞ[愛町の香り]をそえて下さい)

二等
 金田雄一郎（ハツニシキ）
 四石五斗六升五合
 藤田喜久治（農林四十一号）
 四石四斗五升五合
 木村喜太郎（同）
 四石四斗
 松岡藤左衛門（同）
 四石三斗四升五合
 伊東宗雄（農林十七号）
 四石三斗四升五合
 杉淵礼司（チヨウカイ）
 四石二斗六升三合
 伊東尚治（農林四十一号）
 四石二斗六升三合
 三等
 伊藤昭悦（農林十七号）
 四石二斗三升五合
 ほか十四名
 四等
 金田幸助（チヨウカイ）
 三石八斗五升
 ほか二十五名
 〔写真Ⅱ表彰式〕

たばこは
合川町内で
買いましょう

を使つてゐることも注目してよい。

しかし、九ボ活字を使用するにふさわしい紙面構成の研究がほしい。これができるた本県広報紙の一步前進である。

今のままでは、紙面に散漫のキライがあつて折角の試みも十分に生きていないようだ」

今年もお忘れなく

立木伐採の許可申請を

- ◇畑作改善事業
- 畑作用小型耕耘機設置
- 五台(七・五)
- 大豆採種圃設置
- 一町歩(一・五)
- 計(二四、一二二千元)

広報コンクー
ル県予選終る

ル県予選終る

全國人民代表大會

○共同放牧施設
 追込舎一棟一五坪及び給
 水施設(五〇〇)
 ◇水稻耕種改善事業
 ○水稻健苗育成施設
 ビニール三〇〇〇坪分
 油紙七、五〇〇坪分(一
 、八六二)
 ○水稻採種は設置
 四町七反歩(九四)
 ○病害虫防除施設
 動力撒粉機一〇台(五
 〇〇〇)
 ○水田裏作奨励施設
 五町歩分Ⅱ動力耕耘機五
 台(一、五〇〇)
 ◇農家経営改善事業
 ○共同作業所新設
 二棟、三〇坪及び機械器

全国広報研究会(東京)では
 昨年から全国広報コンク
 ールを実施しているが、そ
 の第二回コンクール秋田県
 予選がさきごろ県庁知事室
 で行われ、本県代表として
 都市部には、「広報あきた」
 (秋田市)、町村部は「広報
 中仙」(仙北郡中仙町)がそ
 れぞれ全国コンクールへ駒
 を進めることになった。
 なお予選参加点数は都市
 部一点、町村部十点の計十
 一点であったが、「広報あい
 かわ」の審査結果は次のと
 おりであった。
 『編集企画は最もよく、文
 章もたのしく編集も手馴
 れている。また新しい試
 みとして九ポイント活字

なお、この申請及び届出を怠ると「森林法」の規定により罰則の適用を受けることがありますから御注意下さい。〔経済課〕

登記所に電話新設

秋田地方事務局落合出張所ではこれまで電話がないため不便をかこっていたが、このほど同所の利用者有志（主として北地区）の協によりて電話（李岱四十番）を新設した。

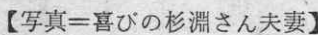
教育委員会辞令

用務員 三浦 久二
（南中学校）

願に依り本職を免する
（一月三十一日付）

杉淵さん(美栄)に輝く栄冠

土質が合わない故に失敗が多々あったが、それでも年々耕作者は増加していった。またこの部落では、たばこの開採も順調に進み、畑の経営面積も約二町歩になり家畜も乳牛、役牛、緋羊各一頭を飼うようになった。三十一一年、杉淵さんにも長



を作りましたよう

じつくり足もとを見つめて、自分の「くらし」をよりよいものにしよう。その一つの方法として「生活作文の会」を作りたいと思います。私が今公民館主事として考えている方法は、月一回づゝ作文を提出する。幹事はこれをまとめ、表紙を付けて綴り合せる上、回覧に出す。年間数回会合して、合評会や座談会を開催する。というようなものですが、指導とか批評の問題、回覧の順序や方法などにいろいろな問題があると思います。

趣旨に御賛成の方々から御意見をお聞きして実行したいと思えますから左記に御連絡下さい。

新電話番號もきまる

合川局、来月中旬発足

李俊郵便局では、合併により、新電話番号もさきごろ来町当局とともに電話交換の抽せん会で次のように決定の統合などについてその準定した。また局名も同時に「合川

(110)

三、宛先〓合川町教育委員会事務局内合川町
広報係
四、その他 原稿は整理の都合上一切お返し
いたしません。また規定に反したものは採
用いたしません。原稿の取捨は係へ御一任
願います。

◎旧正も過ぎた。毎年々々

「正月は新暦で呼ぶかけもさつぱり効果がなく、大部分の人がやつぱり旧正をやつたらしい。『世論を待つさ』と誰かが言つたが、全町あげて新正を祝えるようなときが来ないものだらうか……」

合川郵便局新
電話番号表

【官公署、部落連絡所】

合川町役場	四	加藤 兵治	七〇	土濃塚正夫	一五
同 東出張所	一四	金田 英篤	七一	成田米治郎	四三
同 北出張所	三二	金田喜代之	一〇八乙	成田 長夫	四五
同 南支所	四二	片桐 謙郎	一四六	成田 徳松	五五
合川町教育委員会	四四	上大野局駐在工員宅	一五〇乙	中村 医院	一〇
合川町診療所	三三	上大野局	一五〇乙	成田 米吉	一五
同 北分院	三四	上大野食堂	一五七	成田 易松	一八
同 南分院	五四	【き】		奈良愛之助	二七
秋田食糧事務所	二〇	木村 健一	二五	成田彦太郎	一五
合川出張所	七五	木村 一蔵	二七	日本通運合川営業所	一三一
合川駅	一四四	木村 運吉	二二	【は】	
県営大野台農場	一四三	木村喜太郎	三二	畠山 義郎	七
同 場長宅	一四三	木村 常蔵	二四	畠山字三郎	五六
法務局落合出張所	一五八	【こ】		畠山定之助	六三
李岱駐在所	四七	工藤文之助	一三	畠山タクシ	一六
上杉駐在所	五七	工藤東之助	一四	畠山 俊夫	一七
七座営林署	七二	【こ】		畠山由太郎	一四二
三里担当区官舎	一三〇	御所野卓治	一三二甲	【ひ】	
同羽根山担当区官舎	一四〇	御所野龍治	一三二乙	正田 為三	一八
同木戸石担当区官舎	一四〇	湖 樂 亭	一四九乙	平川 文治	一〇二
上道城部落連絡所	一三〇	【さ】		平川 運吉	一〇五
鎌の沢同	一三九	桜田治恵門	二	平川 旅館	二八
下道城同	一三九	佐藤佐五郎	六	【ふ】	
杉山同	二六	桜田治財門	三一	藤岡 規一	八
荊田同	七三	桜田 助吉	四八	藤岡伊八郎	一二
摩 当同	一五五	斎藤 晋吉	一二	藤岡与左衛門	二一
三木田同	四〇	佐藤 直吉	一二〇	藤島 藤一郎	三六
三 里同	一六	桜井与之助	一二二	ふじや食堂	一〇一
雪 田同	五八	桜田由太郎	一二三	ふじや旅館	一〇七
落合農業協同組合	一〇九	佐藤喜代治	一二五	福岡善治郎	一三八
上大野同	六七	佐藤甚太郎	一四一	藤島 栄治	一五四
同駅前倉庫	一〇四	佐藤 庫吉	一五三	【へ】	
下大野同	六八	【し】		平和興業株式会社	一七
下小阿仁同	六五	庄司 直蔵	一〇	【ま】	
合川東小学校	九	東海林富治	一五	松橋 孝吉	一六
同 東中学校	一九	清水 正三	二二	松橋吉五郎	三八
同 西小学校	二九	庄司物産合名会社	六二	松岡 四郎	四六
同 西中学校	三九	秋北バス合川出張所	一〇〇	松橋長太郎	一三
同 南小学校	四九	庄司 弁助	一三四	松井長之助	一三五
同 北小学校	五九	下小阿仁製材所	一四五	松橋 良蔵	一五三
合川郵便局	六〇	【す】		松橋 庫二	一五五
同（通話局）	五〇	鈴木 茂	五	【み】	
上大野郵便局	五一	鈴木 武治	二八	三浦 理吉	四一
下大野郵便局	五二	杉淵 啓治	七四	【む】	
下小阿仁郵便局	五三	杉淵 宗次	一三七	村形駒之助	一四九
【一般の部】		鈴木 武治	一四八	【も】	
【あ】		【た】		森岡 真一	二三乙
安部松五郎	六九	高橋勘四郎	一一	森岡 吉正	一〇八
アサヒ電気商会	一〇三	高橋 欣二	三五	【や】	
安部倉之助	一〇六	高橋 長治	六一	山沢 一夫	二三甲
【い】		高橋 文蔵	一一一	【や】	
岩沢 徳松	一一一	高橋吉太郎	一三三	米倉甚三郎	三七
伊藤潤二郎	一九	高橋 シゲ	一三六	米倉甚吉郎	六七乙
【お】		高橋 福治	一五〇	よしの食堂	一四七
小田 信一	六四	【と】		米倉木材株式会社	一四七乙
【か】		六五 土濃塚鶴吉	七三乙		